

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和4年5月1日※1  
(前回公表年月日：令和3年10月1日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
外語ビジネス専門学校	昭和57年11月1日	深堀 和子	〒210-0007 神奈川県川崎市川崎区駅前本町22-9 (電話) 044-244-3111				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 深堀学園	平成16年11月1日	深堀 和子	〒210-0007 神奈川県川崎市川崎区駅前本町22-9 (電話) 044-244-3111				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士		
商業実務	商業実務専門課程	国際ビジネス学科		平成6年文部科学省 告示第84号	-		
学科の目的	グローバルな現代社会において、日本国内で完結する仕事が減少し、海外と係らなければ業務が進まないという状況になってきています。このような状況下で企業より求められている、国際ビジネス業界で働くための、下記の知識・技能を習得させることを目的とします。 1. 英語コミュニケーション力 2. 専門知識(貿易知識・実務、航空貨物取扱知識・技能、フォワーディング、マーケティング、異文化研究、世界に通用するホスピタリティ) 3. パソコン知識・技能						
認定年月日	平成26年 3月 31日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	62単位	25単位	83単位	14単位	0単位	0単位
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
200人	173	21	14人	28人	49人		
学期制度	■前学期：4月1日～9月25日 ■後学期：9月26日～3月31日		成績評価	■成績表： 有 ■成績評価の基準・方法 授業開始時に各講師が成績評価方法を記した科目ごとのシラバスを配布します。評価方法は、学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、実技等となります。			
長期休み	■学年始：4月1日 ■夏 季：8月7日～9月22日 ■冬 季：12月18日～1月4日 ■学年末：3月14日～3月31日		卒業・進級条件	講師から出された前学期、後学期の学科ごとの評価を基に、出席率と合わせて単位認定を行い、62単位以上を取得した学生に卒業証書を授与します。			
学修支援等	■クラス担任制： 有 ■個別相談・指導等の対応 クラス担任が随時個別相談を行い、生活指導、学習支援、就職支援を行う。学生が自由に相談に来れる体制がある。		課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 スポーツ(主にバレーボール、バスケットボール、卓球) ■サークル活動： 有			
■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) 国際物流、フォワーダー、空港グランドハンドリングスタッフ、航空貨物取扱会社、空港サービス、ホテル、営業職等 (株)ANA Cargo、(株)JALカーゴサービス、(株)アルプス物流、(株)近鉄コスモス、第一港運(株)、(株)ペガサスグローバルエクスプレス、トナミ国際物流(株)、日本トラフィックサービス(株)、セイノスーパーエクスプレス(株)、(株)A.I.F.、ノットグローバルホールディングス、鈴与通関(株)、インターナショナルエクスプレス(株)、(株)ジェイアール東海パッセンジャーズ、(株)星野リゾート、(株)ロッテリア、(株)温故知新、(株)ACN、(株)サカジコ、藤沢市役所、桜美林大学 ビジネスマネジメント学群編入、神奈川大学 経営学部 国際経営学科編入、他			主な学修成果	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年3月31日時点の情報) ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)			

就職等の状況※2	<b>■就職指導内容</b> 企業をお呼びしての就職ガイダンスの実施、先輩による就職体験発表、エントリー指導、提出書類の添削、模擬面接の実施等、個人に合わせたきめ細やかな指導を行っている。	(資格・検定等) ※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IATAディプロマ基礎</td> <td>③</td> <td>45名</td> <td>31名(90%以上のDistinctionでの合格者3名)</td> </tr> <tr> <td>貿易実務検定 C級</td> <td>③</td> <td>35名</td> <td>29名</td> </tr> <tr> <td>IATAディプロマ危険物</td> <td>③</td> <td>13名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>貿易実務検定 B級</td> <td>③</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>国内旅程管理主任者</td> <td>③</td> <td>25名</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>通関士</td> <td>③</td> <td>10名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>TOEIC受験</td> <td>③</td> <td>100名</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>日商ビジネス英語検定3級、2級</td> <td>③</td> <td>10名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>MOS検定(Excel)</td> <td>③</td> <td>20名</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定 3級</td> <td>③</td> <td>17名</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table>	資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	IATAディプロマ基礎	③	45名	31名(90%以上のDistinctionでの合格者3名)	貿易実務検定 C級	③	35名	29名	IATAディプロマ危険物	③	13名	9名	貿易実務検定 B級	③	1名	1名	国内旅程管理主任者	③	25名	25名	通関士	③	10名	1名	TOEIC受験	③	100名	-	日商ビジネス英語検定3級、2級	③	10名	9名	MOS検定(Excel)	③	20名	15名	ビジネス能力検定 3級	③	17名	10名
	資格・検定名		種別	受験者数	合格者数																																										
IATAディプロマ基礎	③	45名	31名(90%以上のDistinctionでの合格者3名)																																												
貿易実務検定 C級	③	35名	29名																																												
IATAディプロマ危険物	③	13名	9名																																												
貿易実務検定 B級	③	1名	1名																																												
国内旅程管理主任者	③	25名	25名																																												
通関士	③	10名	1名																																												
TOEIC受験	③	100名	-																																												
日商ビジネス英語検定3級、2級	③	10名	9名																																												
MOS検定(Excel)	③	20名	15名																																												
ビジネス能力検定 3級	③	17名	10名																																												
<b>■卒業生数</b> 87 名 <b>■就職希望者数</b> 62 名 <b>■就職者数</b> 58 名 <b>■就職率</b> : 93.5 % <b>■卒業者に占める就職者の割合</b> : 73.6 % <b>■その他</b> ・進学者数: 11人 ・留学: 6人 (令和3年度卒業者に関する令和3年3月31日時点の情報)	<b>■自由記述欄</b>																																														
中途退学の現状	<b>■中途退学者</b> 8名 令和2年4月1日時点において、在学者116名(令和2年4月1日入学者を含む)令和4年3月31日時点において、在学者87名(令和4年3月31日卒業者を含む) <b>■中途退学の主な理由</b> (例) 学校生活への不適合・経済的問題・進路変更、病気等 <b>■中退防止・中退者支援のための取組</b> (例) カウンセリング・再入学・転科の実施等 担任が学生とこまめに面談をして、学生の心のケアを行っています。また、経済的な理由により、アルバイト過多になり出席状況が悪くなったり、学費の支払いが出来ずに退学をする学生がいます。このような学生に対しては、学費の分納処置を取るなどして、対応をしています。また、在学中に就職のため通学が困難になる時期が生じた場合は、特別な処置をとり、卒業に結びつくよう配慮をしております。昨年はコロナの影響か、以前から抱えていた、精神的な病を悪化させてしまうケースが見られた	<b>■中退率</b> 4.20 %																																													
経済的支援制度	<b>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度:</b> 有・無 特待生制度、資格奨学金、深堀学園奨学金、指定校推薦奨学金、神奈川県高等学校校定時制教育振興会奨学金 <b>■専門実践教育訓練給付:</b> 給付対象 非給付対象 ※2020年度 14名利用																																														
第三者による学校評価	<b>■民間の評価機関等から第三者評価:</b> 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																																														
当該学科のホームページURL	http://www.cbc.ac.jp/																																														

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)  
 最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)  
 「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1) 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
 ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。  
 ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。  
 ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。  
 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2) 「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について  
 ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。  
 (3) 上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)  
 認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

この学科開設の趣旨である、貿易、空港、航空業界、外資系企業等で働くことを実現させるために、物流、空港関連、エアカーゴ等の企業と留学機関との連携を深め、学生に職業への認識を与え、仕事に就いた際に、能力を發揮できる人材へと育てることを方針としています。また、貿易、空港、航空業界のメンバーからなる教育委員会を編成することにより、より実践的な授業を行うことが可能となり、メンバーの意見をうかがいながら、新たな授業科目の開設及びインターンシップを促進する方針です。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

- 1 学校法人深堀学園理事会（以下「理事会」という。）の求めに応じ、産業界の新たな技術ニーズやサービスの変化に関して、カリキュラムをはじめとした教育内容や学科の改編等について理事会に提言・具申する。
- 2 理事会の運営方針に従い、教育課程編成委員会を学科ごとに編成し年2回開催する。委員会の開催前には企業に議題を提示し、会議開催の連絡を行う。会議では学科での取り組みの報告をし、企業の方からは業界の現状並びに採用状況などをお話しいただき、カリキュラム・インターンシップ・講話・連携授業などの可能性や課題の検証を行う。その後、学内メンバーによる反省会を実施し、有効な取組の発見・検証・実施方法などを話し合い次年度以降の新たな取組の検討を行う。理事会に会議の報告並びに教育内容について提言を行う。
- 3 学校における教員研修機会の充実を支援し、「企業との情報交換研修会」等を支援し、相互講師派遣等を推進する。
- 4 学校における、インターンシップ、企業見学会、企業人による特別講義などの運営を支援する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
鈴木 賢二	川崎商工会議所	2019年8月1日～2023年7月31日	①
北 篤彦	公益財団法人川崎港振興協会 専務理事	2021年10月1日～2024年9月30日	①
服部 隆文	ジャスフォーワーディングジャパン株式会社 プロジェクト 副部長	2021年10月1日～2024年9月30日	③
松本 明生	(株)エアポートカーゴサービス企画事業部 部長	2021年10月1日～2024年9月30日	③
久保 万寿夫	羽田空港サービス(株)	2021年10月1日～2024年9月30日	③
奥野 高広	コウノイケエアポートサービス(株) 業務管理課 課長	2021年10月1日～2024年9月30日	③
笠井 孝洋	岡本物流株式会社 コーポレート統括室 人事・総務グループ	2021年10月1日～2024年9月30日	③
三浦 和幸	セイノースーパーエクスプレス株式会社 人事部 教育課 課長	2021年10月1日～2024年9月30日	③
逢坂 理恵	株式会社 JALカーゴサービス 総務部 人事企画・教育グループ 主任	2021年10月1日～2024年9月30日	③
杉山 誉	全日本空輸株式会社 オペレーションサポートセンター	2021年10月1日～2024年9月30日	③
水谷 朋子	トナミ国際物流株式会社 コーポレート本部 人事労務課 次長	2021年10月1日～2024年9月30日	③
深堀 和子	外語ビジネス専門学校 学校長		
三好 真理子	外語ビジネス専門学校 教務課 課長		
石井 智大	外語ビジネス専門学校 国際ビジネス学科 英語コミュニケーションコース 担任		
中山 知	外語ビジネス専門学校 国際ビジネス学科 貿易・航空ビジネスコース 担任		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 9月或いは10月 及び 2月或いは3月

(開催日時)

第1回 令和3年 10月22日 16:00～17:30

第2回 令和4年 3月30日 16:00～17:30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

コロナ禍での業界の現状をお話頂き、今後の動向や求める人材の変化についてご意見を頂きました。採用人数を控えるという企業様と例年通りの採用を行う企業様で分かれています。売り手市場に変化をしていることは確かで、航空業界を目指していた学生達が国際物流企業に殺到している傾向があるようだ。社会的、政治的な物事に関心を持ち、自分の頭で考え、それを発信できるような人材になって欲しいというご意見をもとに、受け身でない授業を展開しようとしています。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

国際ビジネス学科の教育内容を充実させるために必要と思われる、実習、現場見学、研修を取り入れ、理論と実践の両側面を充実させることを基本方針としています。その為に、輸出入業社、海貨業者、エアカーゴ、航空貨物取扱業と貿易取引に関連する企業との連携を深めていくことに務めています。

実践的英語力強化のため、留学制度の充実を図ります。現在は、州立カリフォルニア大学 サンディエゴ校、国立西オーストラリア大学、EF、留学ジャーナル、マイステージと連携をしています。今後は、語学留学のみならず、専門科目の学習、現地でのインターンシップ体験が出来る留学先との提携を進め、海外の大学との単位互換を推進し、学生が本校での学習を活かし、効率的な留学が出来るよう努力していく所存です。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

- ①「貿易シミュレーション」授業では、貿易・航空ビジネスコースの集大成として、今まで学んできた貿易知識・実務、ビジネス英語、マーケティング知識などを活用し、輸入体験授業を行っています。グループワークの授業として、自発的に考え行動する、作業順序・工程を考える、英文日本語でのビジネスe-mailの書き方、連絡・報告・相談の仕方などビジネスに直結する授業を行っています。ロスアンジェルス貿易商と海貨業者に連携授業としてご協力を頂いています。レポート40%、グループへの参加度(連携先海貨業者との合同評価) 40%、連携先貿易商からの評価20%で評価を行っています。
- ②仕事に対する理解を深め、仕事のやり方やマナーを知り、更に授業で学んだ知識を現場で確認するためのインターンシップを行っています。国際物流業界、空港サービス業界、インターナショナルスクールでのアシスタントなど各自の将来を見据えて、インターンシップ先を選ぶことができます。インターンシップ終了後、本人からの報告書の提出、実施をしてくれた企業より実習評価を頂き単位として認めています。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な6科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
貿易シミュレーション	商品を米国から輸入するためのQuotation Request, Purchase Orderの作成等を通じて、海外の輸出者とのコミュニケーションの実習、及び輸入通関、商品受け渡し業務を輸入者の立場として体験実習する授業です。	Southern Coast International Corp 伊勢湾海運株式会社
IATAディプロマ基礎コース	国際航空貨物輸送に係わる航空機への搭載までのプロセス(貨物の受託・運賃諸料金の計算・航空運送状作成・国際時刻表に基づく予約方法・航空機の種類と搭載方法等)を半年かけて修得します。	航空貨物研修センター 川崎東郵便局
インターンシップ	仕事への理解を深め、仕事の進め方やマナーを知り、更に授業で学んだことを実際の業務で体験します。体験したことを基に、進路を定めることが出来るようになり、就職活動を円滑に進められるようにします。	ヤマトグローバルロジスティクスジャパン(株)、ロジスティクスオペレーションサービス(株)、JASフォワーディングジャパン(株)、セイノスーパーエクスプレス(株)、ワールドエンタープライズ(株)、新東京工業(株)、(株)おてつたび、(株)ファンテックス
異文化研究	留学や外国と取引をする際に知っておかなければいけないのが、国ごとに異なる生活習慣、商習慣や文化です。海外で生活する際に必要な情報や、生活に直結する英単語、会話表現を学びます。グローバル人材としての教養を身につけることが目的です。	合同会社PTM
キャリアガイダンス	1. 社会生活を営む上で必要なこと、2. 社会人になるために必要なこと、3. 自立した社会人になるために必要なことをマナー、人間関係、能力の観点から学びます	JALカーゴサービス(株)、セイノスーパーエクスプレス(株)、全日本空輸(株)、株式会社AOKIホールディングス(株)、SMBCコンシューマファイナンス(株)、(株)ゾールコミュニケーションズ、(株)マイナビ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

- ・国際ビジネス学科では、貿易、航空分野、英語教育の専門に関する研修に力を入れています。貿易では新しい条項、異なる職種での過去の事例を知ることは、授業を実践的にする効果があり、そのような研修には積極的に参加をして頂く方針を取っており、研修で得た内容は同学科の教員同士で情報の共有を図り、研鑽に励んでいます。
- ・英語教育を充実させるためには、グローバル社会に対応できる人材に求められているレベルや、IT社会に対応する教育の実態を知ることが重要だと考えているため、各団体の開催する研修への参加を促しています。
- ・教員の持っている知識を学生に興味を持って伝えていくためには、若年者の心理や思考を知ることが大切で、そのような研修には教員に積極的な参加を促しています。また、授業運営が上手な教員の授業を、新任教師に見学をして貰い、指導力の向上に結び付けています。
- ・貿易関連の教師間の情報交換を密にして、教科間のブレを失くし、基礎から応用への流れをスムーズにしたり、各科目を学習後の集大成となる、貿易シミュレーションの授業が円滑に行えるよう努力をしています。
- ・進路指導を確実なものとするために、担任には必要な研修に参加して貰い、内部でも研修会を実施しています。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・2021年3月16日 English Teachers Faculty Meeting、貿易関連科目会議  
英語、貿易授業を担当する先生方による教え方、学生対応、シラバスの立て方、評価方法などに関する教員同士の意見交換、意識統一、教育の質の均一化に関する打合せ会議
- ・2021年5月28日 TOEIC L&R IPテストセミナー 株式会社アルク、一般社団法人国際ビジネスコミュニケーション協会
- ・2021年11月24日 新型コロナが変えた世界、持続可能な国際ビジネスの展望 日本貿易振興機構
- ・2022年3月17日 高度物流人材シンポジウム 国土交通省・経済産業省・SIPスマート物流サービス管理法人

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・新任英語教員に、学生のレベルや進度にあった授業方法を身に付けて貰うため、授業開始前に専任の授業見学をして頂いています。また、授業開始後に専任教員が授業見学をし、授業方法、内容をチェックし、フィードバックを行っています。
- ・2021年5月25日 SDGsの基礎知識・企業活動への活かし方 川崎商工会議所
- ・2021年6月8日 オンライン授業における著作権について 神奈川県専修学校各種学校協会
- ・2021年7月12日 ネットを駆使したウソと人間心理の見抜き方 一般社団法人日本刑事技術協会
- ・2021年12月19日 外国につながるのある高校生たちの『活躍する力』を拓く 公益財団法人日立財団

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・企業の動向や求める人物像を把握し、就職指導に生かすため校内企業説明会/企業人講和への参加  
2022年10月 セイノースーパーエクスプレス(株)  
2022年11月 全日本空輸(株)  
2022年11月 JALカーゴ(株) 予定
- ・貿易の現状を知るための見学研修  
2022年10月 川崎港コンテナターミナル見学研修 川崎港振興協会との連携、羽田空港植物検疫所見学研修実施

② 指導力の修得・向上のための研修等

- 2022年9月15日 English Teachers Faculty Meeting  
英語授業を担当する先生方による教え方、学生対応、シラバスの立て方、評価方法などに関する教員同士の意見交換、意識統一、教育の質の均一化に関する打合せ会議

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ・地域の国際交流拠点としての働きを持ち、学生・保護者・業界関係者などに自己評価の結果を提示して、客観的な評価やご意見を頂いています。
- ・本評価を行うことで、学校関係者との関係を深め、更に連携やご協力を仰ぐきっかけとしております。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	自己評価基準1「教育理念・教育目的・育成人材像等」より 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか 学校における職業教育の特色 など
(2)学校運営	自己評価基準2「学校運営」より 目的等に沿った運営方針が策定されているか 事業計画に沿った運営方針が策定されているか 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか など
(3)教育活動	自己評価基準3「教育活動」より キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムの工夫など 教育理念、育成人材像や関連分野の企業・関係施設などや業界団体等との連携など
(4)学修成果	自己評価基準4「教育成果」より 就職率の向上・資格取得率の向上が図られているか など 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか など
(5)学生支援	自己評価基準5「学生支援」より 進路・就職に関する支援体制、経済的側面に対する支援体制 など 社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備 など
(6)教育環境	自己評価基準6「教育環境」より 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等 防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	自己評価基準7「学生の募集と受け入れ」より 学生募集活動は、適正に行われているか 学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか 学納金は妥当なものとなっているか
(8)財務	自己評価基準8「財務」より 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか 財務について会計監査が適正に行われているか など
(9)法令等の遵守	自己評価基準9「法令等の順守」より 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか など
(10)社会貢献・地域貢献	自己評価基準10「社会貢献」より 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託 など
(11)国際交流	自己評価基準11「国際交流」より 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか 受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか 学習効果が国内外で評価される取組を行っているか など

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校や学科が目指す理念・育成像などをもっと積極的にウェブなどを通じて情報を伝えていくと良いのではないかというご意見を頂き、ウェブサイトの強化やパンフレットなどを改善する努力を行っております。また、専門学校として、日本人はもちろん留学生についても「就職先の確保」が今まで以上に大事になってきている状況なので、行政とのタイアップをしていくことも必要ではないかというご意見を頂きました。行政の中心と国際都市川崎の教育機関がお互いどのような役割を果たして行くのかを協議していく場を設けられるよう、模索しております。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
齋藤 文夫	一般社団法人 神奈川県観光協会 会長 一般社団法人 川崎市観光協会 会長	令和元年9月1日～令和4年8月31日 (3年)	企業等委員
田中 和徳	全国高校定時制通信制教育振興会 副会長 神奈川県高校定時制通信制教育振興会 会長	令和元年9月1日～令和4年8月31日 (3年)	高等学校関係者
西岡 浩史	川崎商工会議所前会頭、名誉顧問 慶應義塾大学 評議員	令和元年9月1日～令和4年8月31日 (3年)	企業等委員
堤原 康之	独逸機械貿易株式会社 代表取締役	令和2年9月1日～令和5年8月31日 (3年)	企業等委員
濱 志津子	税理士法人M&S総合会計事務所 代表社員 (横浜地方裁判所 川崎支部 調停委員)	令和2年9月1日～令和5年8月31日 (3年)	企業等委員
有田 奈々子	義勇海運株式会社. 2012年度卒業生	令和2年9月1日～令和5年8月31日 (3年)	本校卒業生 (出身校：国際基督教大)
服部 雅江	駅前本町婦人部 監査 社会福祉協議会 理事	令和2年9月1日～令和5年8月31日 (3年)	地域関係者
三塚 豊子	川崎中央第一社会福祉協議会 理事 駅前本町婦人部 部長	令和2年9月1日～令和5年8月31日 (3年)	地域関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

公表時期：令和3年7月31日

URL:<http://www.cbc.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校への理解を深めていただく為に、学校関係者評価について、ホームページ、学校新聞(CBC JOURNAL)、パンフレット、募集要項等で、積極的に情報提供を行います。また、学校関係者評価以外の項目についても、ホームページなどにより学校情報を発信していくものとします。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	CBCの歴史、学園施設、理事長・学園長挨拶、校内の風景、教室・実習室
(2) 各学科等の教育	指す資格と学習法
(3) 教職員	講師紹介
(4) キャリア教育・実践的職業教育	All About CBC 地域/産業/行政との連携活動、就職指導：7つのポイント、企業の皆様へ、職業訓練
(5) 様々な教育活動・教育環境	All About CBC 教育連携活動、伝わる英語をものにする、キャンパスフォト、年間行事
(6) 学生の生活支援	学生寮、奨学金などのご案内
(7) 学生納付金・修学支援	2022年学生募集要項4月入学、2022年留学生募集要項4月入学
(8) 学校の財務	財務
(9) 学校評価	外語ビジネス専門学校 学校関係者評価報告書
(10) 国際連携の状況	外国人の為の日本語教育、All About CBC 国際交流活動、留学サポート、川崎市教育連携講座
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

学校HPとパンフレットにて公開をする URL: <http://www.cbc.ac.jp>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 国際ビジネス学科) 2022年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ	多くの演習を通して、英語で読むこと、書くこと、聞くこと、話すことの技能を高めます。宿題を行ったり、復習をしたり、定期テストや小テストの準備をすることで、学習する姿勢を身につけます。クラス内の会話演習では、ペアワークやグループワークを行い、クラスメートとのコミュニケーションを良くする機会になります。Sクラスのみ週2コマはディスカッションになります。レベル別授業です。	1年・前期/後期	120	4	○			○	○	○			
	○		英語コミュニケーションⅢ・Ⅳ	多くの演習を通して、英語で読むこと、書くこと、聞くこと、話すことの技能を高めます。宿題を行ったり、復習をしたり、定期テストや小テストの準備をすることで、学習する姿勢を身につけます。クラス内の会話演習では、ペアワークやグループワークを行い、クラスメートとのコミュニケーションを良くする機会になります。Sクラスのみ週2コマはディスカッションになります。レベル別授業です。	2年・前期/後期	120	4	○			○		○	○		
○			英語特講Ⅰ・Ⅱ	英検合格を目指します。過去問を使い、英語の基礎力をしっかりつけます。単語熟語、文法、構文語法、整序、読解、会話表現、リスニング、面接などを扱います。英語にたくさん触れることも大切です。単語熟語は、どんどん覚えましょう。この科目はレベルに分かれます。	1年・前期/後期	60	2		○			○		○	○	
	○		英語特講Ⅲ・Ⅳ	英検合格を目指します。過去問を使い、英語の基礎力をしっかりつけます。単語熟語、文法、構文語法、整序、読解、会話表現、リスニング、面接などを扱います。英語にたくさん触れることも大切です。単語熟語は、どんどん覚えましょう。この科目はレベルに分かれます。	2年・前期/後期	60	2		○			○		○	○	
○			TOEIC特講Ⅰ・Ⅱ	TOEIC対策の講座です。TOEICの得点を伸ばすためには、まず英語の基礎力をしっかり養成することが重要です。あわせて、TOEICの問題形式になれることです。基礎力を付けるために、多読、ディクテーションなども取り入れます。基礎文法の確認も必要です。この科目はレベルに分かれます。	1年・前期/後期	60	2		○			○		○	○	
	○		TOEIC特講Ⅲ・Ⅳ	TOEIC対策の講座です。TOEICの得点を伸ばすためには、まず英語の基礎力をしっかり養成することが重要です。あわせて、TOEICの問題形式になれることです。基礎力を付けるために、多読、ディクテーションなども取り入れます。基礎文法の確認も必要です。この科目はレベルに分かれます。	2年・前期/後期	60	2		○			○		○	○	
○			TOEIC特講Ⅴ/Ⅵ	必修科目TOEIC特講に加えて、スコアアップを目指す人のためのクラスです。文法、語彙力、リスニング力、読解力を総合的に高め、TOEICの全パートを学習します。問題の傾向をつかむことで、解答精度を上げ、得点につながる選択テクニックやタイムマネジメントスキルを身につけます	2年・前期/後期	120	4		○			○		○	○	
○			パブリックスピーキング	英語でのスピーチやプレゼンテーションの基本を身につけます。姿勢やジェスチャー、声の調子など身体表現から、内容の組み立て方、使える表現など、人前で効果的に話すコツを学びます。このコースは9レベルに分かれます。	1年・前期/後期	60	2		○			○		○	○	
	○		Presentation	ビジネスに即したトピックをフォーマルな形でプレゼンテーションが出来るように演習を行います。学生はトピックに対してスピーチの準備をし、自信を持ってプレゼンが行えるよう英語表現や技術を磨いていきます。	2年・前期/後期	60	2		○			○		○	○	









英語 コース	異文化研究	留学や外国と取引をする際に知っておかなければいけないのが、国ごとに異なる生活習慣、商習慣や文化です。海外で生活する際に必要な情報や、生活に直結する英単語、会話表現を学びます。グローバル人材としての教養を身につけることが目的です。	1年・後期	30	1			○	○					○	○
英語 コース	観光英語検定対策	観光英語検定3級合格を目標に、出題形式をひとつひとつ確認・研究しながら、観光で使う実践的な英語力と、検定対策スキルを習得します。またこの学習を通して、一般的な観光知識を身に付けます。	1年・前期	30	1			○	○					○	
英語 コース	English through Movies	映画を教材として、生の英語に接し、英文法、アクセント、イントネーションを学び、音声変化のポイントを抑えながらの聞き取り演習をします。	1年・後期	30	1			○	○					○	
英語 コース	Introduce Japan	訪日観光客が増加している日本で、アルバイトや仕事で遭遇すると思われる場面を想定し、実践的な「おもてなし英語」を習得しながら、日本の文化への関心を深めます。	2年・前期	30	1			○	○					○	
英語 コース	Pronunciation	スピーチの理論を学び実習を行います。音声を体系的に学び、音と文字の結びつきを学習し、英語を話すことに結び付けていきます。演習は、音のつながり、発音しにくい音、馴染みのない言葉から始めます。評価は、リスニング・ライティング・スピーキングで行います。この科目はレベル別です。	1年・前期	30	1			○	○					○	
英語 コース	Travel English	観光に関連する基本的な用語、観光知識を英語で学びます。また、観光関連業界での英語を使った働き方について身につけます。	2年・前期	30	1			○	○					○	
英語 コース	News in English	海外のニュースを通して日本で報道されない世界の情報を知り、会話に活かせる知識を増やします。また、ニュースによく出る単語やフレーズを覚えることで、表現力をアップし、リスニング力、リーディング力をつけていきます。	2年・後期	30	1			○	○					○	
英語 コース	Service English	ホテル、観光、旅行等、様々なサービス業界に適した英語表現を学習します。語彙・表現を覚え、ロールプレイを通して実践で使えるよう習得していきます。この科目は2レベルに分かれます。	2年・前期/後期	30-60	1-2			○	○					○	○
英語 コース	インテンシブリーディング/インテンシブスピーキング (Read a lot/Talk a lot)	話す力、読む力を伸ばすクラスです。短い物語や小説などを読みます。継続的に読むことで、リーディングスピードをあげ、読解に必要なテクニックを身に付けます。日本で英語を学ぶ学習者のために作られたテキストを元に、普段の生活に関わる話題について、パラエティ豊かなアクティビティを通して、「話す力」「コミュニケーション力」を伸ばします。	1/2年・前期	30-60	1-2			○	○					○	○
英語 コース	旅程管理主任者	ツアーコンダクターに必要な実務を習得し、資格取得を目指します。①打合せ②当日の添乗③精算報告が添乗業務の3本柱です。資格取得に必要な観光地や約款も分かり易く学びます。国内添乗実務演習では、実践さながらのロールプレイを行い、授業の最後には資格取得試験を受け、「国内添乗実務研修」(15,000円)を受験します。合格すれば「実務経験証明証」が発行され、「旅程管理主任者(国内)」が取得できます。*単位認定には、資格取得試験が必須です。	2年・前期	60	2			○	○					○	○
英語 コース	インバウンドツアー研究	日本に来られる外国人観光客がどのようなニーズを持っているのかを知り、ニーズにこたえられるような企画・立案が出来るよう理解をしていきます。	2年・前期	30	1			○	○					○	
英語 コース	旅行業のしくみ	旅行業界の現状、営業形態、旅行商品といった包括的な知識を身に付けます。	2年・後期	30	1			○	○					○	
英語 コース	観光地理(国内・海外)	海外や外国の人と仕事をする上で必要な日本・海外の地理や観光地、文化を学びます。異文化を知ることで、国際コミュニケーション力が身につきます。また、グループワークでは色々な人の意見や考えを調整しつつ、旅行の計画を立てることに挑戦します。	2年・後期	30	1			○	○					○	



○	漢字特講	初日の授業で漢字レベルチェックを行い、受験目標資格を設定します。7月末までに目標の漢字検定に合格することを目指します。	前期/後期	30-60	1-2	○	○	○										
○	PE (Physical Education)	ヨガのクラスです。呼吸法やヨガのポーズを通して、体を整えていきます。	前期/後期	30-60	1-2	○	○	○										
○	デジタル Photography	ビジネスにおける「商品」画像の重要性を理解するための写真撮影テクニックを習得します。※スマホ又は一眼レフカメラを持参する必要があります。	前期/後期	30	1			○	○	○								
○	キャリア開発プログラム I/II	英語を学ぶこと、仕事をするに対する意識をつけるための授業です。新聞記事を読むこと、テレビの番組を見ることを通し、考える習慣を身につけ、自分の意見を相手に伝えるように書く力、話す力を伸ばします。	1年・前期/後期	60	2			○	○	○								
○	キャリア開発プログラム III/IV	社会人の一員となることに対する意識をつけるための授業です。日本を取り巻く社会的な事柄について考え、意見を言う、意見をまとめる、他の人の意見を聞くという練習をします。	2年・前期/後期	60	2			○	○	○								
○	インターンシップ	企業など実際の職場で働く経験をします。社会人になる前に、働く体験をすることで、職業観の形成、キャリアプランの形成、就職先の選択などに生かすことが出来ます。	随時	30時間以上	1単位以上			○	○	○								
○	海外語学研修	海外の提携先の大学、語学学校等で研修を体験します。語学研修のみならず、ホテル、貿易、ビジネス等の専門科目を英語で学ぶコースもあります。学ぶ場所と施設は選択することが可能です。	随時	30時間以上	1単位以上			○	○	○								
○	論説文理解	新書を中心とした論説本を読み、日本語力、論文読解力、読解スピード、一般的知識などを磨きます。1冊につき1単位となり、数回の確認テストにより単位が認められます。	随時	30-120	1-4			○	○	○								
○	課外特別行事	ハロウィン、サンクスギビング、クリスマスの欧米の文化を理解し体験をする活動を行います。また、英語習得や、コミュニケーションを培うための宿泊研修と、学科別研修、スピーチコンテストの6つの課外活動の内、4つ以上に参加した場合単位取得が出来ます。	1/2年・前期/後期	60	各学年1単位			○	○	○	○							
合計			92科目			単位時間(111-123単位)												

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
授業開始時に各講師が、成績評価方法を記した科目ごとのシラバスを配布します。評価方法は、学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、実技等となります。講師から前学期、後学期の評価を貰い、出席率と合わせて単位認定を行い、62単位以上を取得した学生に卒業証書を授与します。 国際ビジネス学科における連携授業は、「IATAディプロマ基礎コース」、「IATAディプロマ危険物コース」、「異文化研究」、「貿易シミュレーション」、「旅程管理主任者特講」、「キャリアガイダンス」、「インターンシップ」、「海外語学研修」と8科目を設定しています。各人の進路に合わせて、8科目の内必ず2科目を履修しなければなりません。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	17週
(留意事項)			
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。			